

簡易版 TP（ティーチング・ポートフォリオ）

氏名	田川道人
所属機関名	獣医学部獣医学科
職位	准教授
在籍年	2

教育の責任

臨床検査学入門：多様な疾患の診断と治療の基礎となる科目であり、獣医学科 3 年の講義で初めての臨床系科目であるため、今後続く臨床系科目の理解のために重要な科目を担当している。

呼吸器病学：呼吸器に関連する疾患について講義をしており、解剖、呼吸生理から疾患治療まで幅広い知識が求められる科目を担当している。

また動物病院での診療活動を通じて学生に臨床の楽しさや意義、最新の獣医療について学んでもらっている。

教育の理念

臨床検査学入門は臨床病理学の前半部分の講義であり、臨床病理学は疾患の成り立ちや病態を臨床的な側面からアプローチすることで解決（＝診断）に導く学問である。そのためすべての疾患診断の基礎となる学問であり、臨床病理学を通じ、獣医師として社会に出たときに高い論理的思考力と問題解決能力を発揮できるよう、自ら学び、幅広い知識と応用力を備えた人材の養成を目指す。

教育の方法・方針

まずは国家試験の出題科目であるため、出題範囲を網羅するかたちでパワーポイント資料を作成している。資料はできる限り図や写真を取り入れ、視覚的にわかりやすいよう工夫している。スライド資料にはときおり空欄を設け、授業の集中が途切れないようにしている。講義中は学生に質問を投げかけ、講義の理解度を図るとともに、国家試験の過去問題を演習として出題しその解説を行っている。また、国家試験にとらわれずに、実臨床で役に立つ知識を得てもらうため、関連する最新の情報をアップデートした資料作成を行うとともに、実際の症例をベースにした仮想症例を提示し、検査の組み立てや結果の解釈、治療について学生が自ら考えられるようディスカッションを行っている。

学生には、患者の主訴や検査所見を正しく解釈し、正しい診断に近づくことができるよう知識と応用力を身に付けてほしい。

教育の成果

授業評価では概ね良好な回答が得られており、満足が 65%、ほぼ満足が 8%と 7 割以上の学生が授業に満足している。個別回答でも“とてもわかりやすい”、“楽しい授業で飽きない”、“他の授業に関連した項目の解説やスライドもわかりやすい”、“実際の症例を知れて満足した”と好評の意見が得られている。

また他の授業でも“やる気に溢れていた”、“小テストが復習になってよかった”など好評な意見が多かった。

今後の目標

現状のスライド資料を学生の意見を参考によりわかりやすいものにブラッシュアップするとともに、必要な知識や不要な情報を時代に即し改訂を行う。講義中は随時質問を受け付け、また質問がないか学生に問いかけることで双方向性を意識した授業づくりを目指す。また小テストや課題を提供することで学生の自習時間の増加を図る。

根拠資料

2022 年授業評価アンケート、2023 年授業評価アンケート、2024 年授業評価アンケート、Google フォームを利用した学生アンケート、講義資料